

ヘルシーライフ 紅葉の秋山を楽しむ

近年、健康や自然に親しむなどの理由から、中高年者を中心に登山人口が増加しています。幅広い年代に広がっていることは、登山に関わる者として喜ばしい限りです。

日本には四季があり、その中で秋山は、身近で燃えるような紅・黄葉など誰もが感激するほど美しい風景に出会えるでしょう。ここで、いくつか紹介します。

1つ目は那須連峰です。峠の茶屋駐車場からなだらかな登山道を稜線まで行くと、反対側に輝くような紅葉が広がっています。2つ目は安達太良山です。少し時間がかかりますが、登山道を登りながら紅・黄葉を楽しみ、頂上からは雄大な景色を楽しむことができます。県内にも袋田など名所コースがいくつもありますので、ぜひ出かけてみてください。

茨城県山岳連盟所属
日本スポーツ協会公認山岳上級指導員
SCスマイルTOKAI ハイキング講師
中庭 稔 さん



中高年者は、自分が思っている以上に体力が落ちています。日頃の健康管理、出かける前にはしっかり睡眠を取るなど体調には充分注意を払ってください。過信は禁物です。

また、登山者の増加に比例し遭難事故も増加しています。目指す山、コースを入念に調べる。非常時に対応できるだけの装備、食料を持つ。知識を身につける。経験豊富な方が同行するなど事故防止に努め、自然の中で心と体をリフレッシュすることをおすすめします。

げんてん東海 地域だより

2018年秋季号

こんにちは
げんでん
です

ごあいさつ

東海事業本部副事業本部長

村部 良和



皆さま、こんにちは。東海事業本部副事業本部長の村部です。

私は1980年に原電に入社し、最初に配属されたのが東海発電所・東海第二発電所でした。新入社員時代は現場で徹底的に安全最優先の考え方を先輩方に叩き込まれました。この30年間で東海駅周辺をはじめ村内の発展は目覚ましいものがありますが、発電所の安全確保への私の思いは現在でも変わっていません。これからも地域の皆さまに愛される原電でありたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



ゲンくん



テラちゃん

げんでんからのお知らせ

発電所周辺の放射線 監視状況

下図のモニタリングポスト
A[B][C][D]で放射線を測定しています。



線量率 $\mu\text{Sv/h}$ (マイクロシーベルト毎時(※))

10時現在	8月1日	9月1日	10月1日
A	0.054	0.054	0.054
B	0.062	0.061	0.057
C	0.062	0.061	0.059
D	0.066	0.064	0.059

(※)モニタリングポストは $\mu\text{Gy/h}$ (マイクログレイ毎時)で測定されていますが、 $1\mu\text{Gy/h}$ (マイクログレイ毎時) $\approx 1\mu\text{Sv/h}$ (マイクロシーベルト毎時)と換算して表示しています。
●空間線量率のデータは降雨によってその値が変動する場合があります。

げんでん東海テラパーク イベント情報など

東海テラパークイベント

ギャラリー

11月6日(火)～12月5日(水) 15時まで

厳選 四季折々の写真(三人展)

厳選された、四季折々の写真を展示します。

12月9日(日) クリスマスパーティー

フープマンYU-YAによる「フーフープショー」をはじめ、工作やクイズなど、ご家族みんなで楽しめるイベントです。

もしかしたらサンタさんもやって来るかも！？

ご家族・お友達をお誘いの上、ぜひご来館ください。



発電所の状況(2018年9月末日現在)

東海発電所 廃止措置工事中
熱交換器の解体撤去を継続実施中です。

東海第二発電所
燃料は原子炉からすべて取り出され、使用済燃料プールで冷却しています。また、使用済燃料プールの水位、温度は安定した状態です。

編集後記

猛暑、酷暑だった夏もいつの間にか過ぎ去り、あっという間に秋本番の気配になりました。秋といえば食欲の秋をはじめ、スポーツ、芸術、行楽、読書など、楽しみがたくさんあります。いずれにしても健やかに過ごしたいものです。

さて、東海第二発電所は11月末で40歳を迎えます。それまでにクリアしなければならない3つの審査があり、すでに2つは合格しました。これまでご支援いただきました地域の皆さまに感謝申し上げます。残りはあと1つ。実りある秋を目指してがんばります。

東二の 審査状況

原子炉設置変更許可、 工事計画認可をいただきました

当社は2014年5月20日、東海第二発電所の新規規制基準への適合性確認審査申請を原子力規制委員会に行い、2018年9月26日、同審査に係る原子炉設置変更許可をいただくとともに、10月18日に工事計画認可をいただきました。

当社としては、この審査の結果をしっかりと安全対策工事等に反映することにより、東海第二発電所の安全性が一層向上するものと考えております。引き続き、運転期間延長認可の審査に全力を挙げて対応するとともに、安全対策工事を着実に進めてまいります。

また、これらの内容については、自治体及び地域の皆さまに説明会の開催などを通じてより一層丁寧にご説明してまいります。



原子力規制委員会から許可証を受領しました
(9月26日 原子炉設置変更許可)

お問い合わせ先 土日祝日を除く 9時～17時



日本原子力発電株式会社 東海事業本部

地域共生部 茨城県那珂郡東海村白方1-1 TEL:029-287-1250
茨城事務所 茨城県水戸市笠原町978-25 TEL:029-301-1511

当社ホームページ 原電検索
<http://www.japc.co.jp/>

出張東海テラパーク **たくさんのご家族でにぎわいました**

「東海テラパークがイオンにやってきた」を合言葉に、8月27日(月)から9月2日(日)にかけて、イオン東海店において出張東海テラパークを開催し、2,000人を超える方々にお越しいただきました。



参加者でにぎわうイオン東海店の様子



この夏も多くの方に東海テラパークにお越しいただきました



「風船太郎のバルーンショー」
風船でテラちゃんも作っていただきました



「ジャブジャブ池」
この夏は猛暑が続いたため盛況でした



「善ちゃんの笑ってタメになるサイエンスショー」
子供も大人も大興奮でした

はてな BOX



Q 発電所でトラブルが起きた時の自治体への通報連絡はどのように行っているの？

地域の皆さまが安心して暮らせる環境を確保することは事業者の務めと考えています。当社では、平日の昼間をはじめ、夜間・休日でも迅速かつ適切に通報連絡が行えるよう、発電所内やその近傍に通報連絡要員を常に待機させており、発電所でトラブルが起きた場合には、トラブルの内容を関係自治体等にFAXするとともに複数の電話回線を利用して一斉に連絡を行っています。また、この通報連絡に万全を期すため、通報連絡要員に対して週に1回訓練を行っており、ゆっくり丁寧に、大きな声ではっきりと、内容を迅速かつ確にお伝えできるよう努めています。

疑問に思っていることなどをお寄せください。
テラちゃんが皆さまの疑問にお答えします。



通報連絡訓練の様子



ひと キラリ

元気で輝く人を紹介します **国体を機にすそ野を広げたい**

東海ホッケースポーツ少年団
代表 菊池 玲子 さん
(東海村)

Q 日頃の活動を教えてください。

A 私たちは県内唯一のホッケー少年団です。毎週日曜日に東海高校ホッケー場、隔週の水曜日は中丸小学校体育館を拠点に、4歳から高校生までの団員27人が練習に励んでいます。勝ちにこだわりすぎず、ホッケーを好きになってもらうことを第一に活動しています。団全体の仲が良く、たがいに慕い合い、教え合って切磋琢磨しているのが特徴です。来年の茨城国体で東海村がホッケー競技会場になっていることもあり、村や社会人チームと共同で体験会やオリンピック出場経験者を招いた指導会を開催し、普及活動にも取り組んでいます。

Q ホッケーの魅力は？

A なんといってもスピード感です。選手や

ボールの動きはもちろんですが、ちょっとしたチャンスさえあれば試合をひっくり返してしまうので、目が離せないゲーム展開も見どころです。少年団としては、友だちとの協力や、練習で積み重ねてきた努力が実を結ぶ達成感を伝えたいですね。

Q 茨城国体に向け意気込みを

A ホッケーはまだマイナースポーツですが、日本代表のアジア大会アベック優勝や東京五輪出場など勢いがあります。茨城国体を機に「こんなスポーツがあるんだ」と多くの人に知ってもらいたいです。少年団のレベルを上げて競技を盛り上げるだけでなく、地域イベントへの出展や小学校での出前授業、身近な遊びにホッケーを取り入れたりして広めていけたら。ホッケーを楽しんでもらう人が増えることで、すそ野が広がっていくと思います。



仲間たち

シニア世代が地域を支える大黒柱に

まさきフレッシュ会

東海村の「まさきフレッシュ会」は真崎地区のシニア世代でつくるボランティア団体です。シニアならではの知識と経験を生かし、地域の大黒柱としてさまざまな地区活動を支援しています。

2000年、地区青年会を中心とした60代で、自己研さんと年齢に応じた新たな活躍・懇親の場をつくろうと発足したのが同会です。会名には「フレッシュな気持ちで第2の人生を歩みだそう」との思いが込められています。会員の知識やノウハウを生かした社会貢献、会員間の親睦を目的に日々活動しています。

現在の会員は27人で平均年齢は約75歳。真崎古墳群や村内の公共施設の清掃・整備活動、子どもたちへの昔遊びを通じた世代間交流、地区や村・他の団体の事業や行事への協力に、祭りでの飲食屋台出展一など、活動は多岐にわたります。

「お手伝いというより、地域を牽引していく気概で臨んでいます」と会員たちは胸を張ります。

月1回の定例会や年2回の懇親旅行は、会員らが意思疎通と懇親を図る団らんの場です。副会長の宮内十三生さん(80)は「長く続けてきたのは会員たちが上下関係なく、仲良く過ごしているからこそ。絆が深まることで地域力にもなり、認知症予防にも。20周年を控え、楽しみながら続けたい」と語ってくれました。



まさきフレッシュ会の皆さん